

絵はがきで知る朝鮮

— 1945年まで —



朝鮮總督府

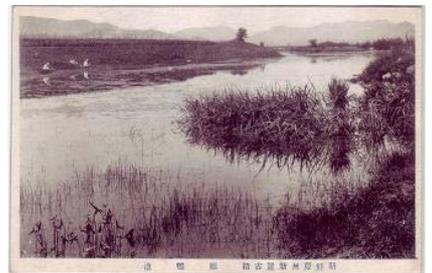


朝鮮神宮

1910年、日本は「韓国併合」を強行し、朝鮮を植民地としました。この時期から1945年までに朝鮮でも多くの「絵はがき」が刊行されました。この「絵はがき」は植民地支配の象徴としての朝鮮總督府の建物や朝鮮神宮や軍隊・警察などが紹介されています。また、農民の日常生活、名所案内、鉄道など当時の生活を反映した様々な「絵はがき」もあります。

今回の展示ではこうした「絵はがき」の実物を見て頂き、植民地支配下の政治や朝鮮民衆の暮らしを知り、朝鮮を考えてみたいと企画しました。

一部、在日朝鮮人に関する「絵はがき」も展示しました。展示品は全て当時、刊行されたものです。



慶州の雁鴨池



農村の機織



民謡「アリラン」



釜山大橋

展示期間：2011年8月3日（水）

～ 10月2日（日）

開館時間：12時～17時

休館日：月曜・火曜

入館料：一般 400円、中高生 200円